

まえがき

このたびは、ビシャモンのパレットワイドレベラーをお買い上げいただきましてありがとうございます。ご使用になる前に必ずこの取扱説明書を熟読いただき、十分にご納得になった上でご使用ください。なお、この取扱説明書は大切に保管していただき、万一紛失された場合には速やかに販売会社にご請求ください。また、製品に貼り付けてある警告シール等が剥がれた場合にも販売会社にご請求ください。

<ご注意>

この取扱説明書では、お守りいただかないと重大な人身事故につながるおそれのある注意事項は「警告」という見出しの下に掲げてあります。また、お守りいただかないと傷害を負う可能性および物的な損害の発生が想定される注意事項は「注意」という見出しの下に掲げてあります。

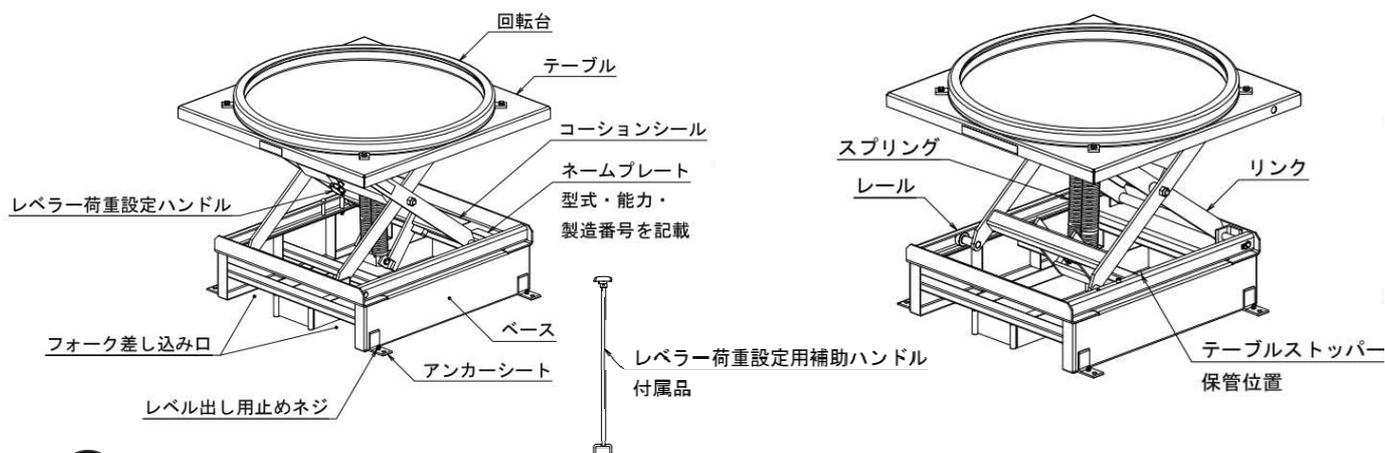
<使用環境について>

使用場所・・・屋内
 周囲温度・・・0～40℃ 結露や凍結のないこと
 湿度・・・35～85%
 雰囲気・・・可燃性ガス・腐食性ガス・蒸気・粉塵のないこと

目次

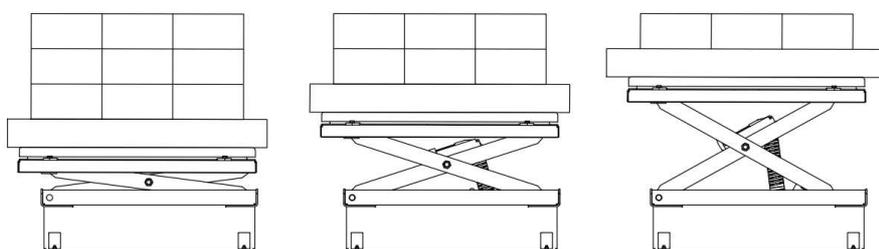
| | | |
|----------------------|--------------------|------------------------|
| 1. 各部の名称・・・・・・・・・・1 | 5. 始業点検・・・・・・・・・・3 | 9. 標準本体仕様諸元・・・・・・・・・・6 |
| 2. 使用目的・・・・・・・・・・1 | 6. 使用方法・・・・・・・・・・3 | 10. 廃棄・・・・・・・・・・7 |
| 3. 使用上の注意・・・・・・・・・・2 | 7. 保守点検・・・・・・・・・・6 | 11. 商品保証規定・・・・・・・・・・7 |
| 4. 設置について・・・・・・・・・・2 | 8. 給脂箇所・・・・・・・・・・6 | 12. アフターサービスについて・・・・8 |

1 各部の名称



2 使用目的

パレットワイドレベラーは、コイル状スプリングでパレットを支え、パレット上の荷物の重さによってテーブル高さを変化させるレベラーです。積み上げしたい荷物の重量に荷重設定すれば、積み下ろし作業中の荷物の高さをほぼ一定に保つことができ、無理な作業姿勢をとらずに楽に作業できます。

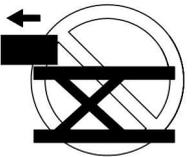
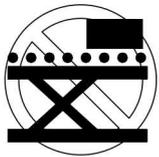


3

使用上の注意

警告

下記の注意事項に違反すると重大な人身事故につながりますので必ず守ってください。

| | | |
|---|---|---|
|  |  |  |
| 荷物をスライドさせて回転台の端から降ろさないこと。テーブルが急にはね上がります。 | 点検、メンテナンス時は回転台の荷物を全て降ろし、テーブルストッパーをレールに差し込んで作業をすること。 | 回転台に大きな鉄板やコンベアーなどを取付けないこと。偏荷重による本機の破損や転倒につながります。 |
|  |  |  |
| テーブルの下に手足を入れないこと。挟まれます。 | 回転台やテーブルの上に乗らないこと。転倒や転落につながります。 | リンク機構やその他動く部分に手足を入れないこと。巻き込まれます。 |

注意

◎取扱説明書をよく読んで理解してからご使用ください。誤った操作は事故につながります。

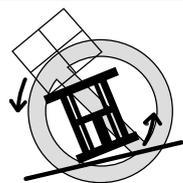
- 耐荷重以上の荷物を載せないでください。オーバー荷重は本機に損傷を与えます。
- 安定性が悪かったり、しっかりと固定されていない荷物には使用しないでください。
- 荷物を均等に配分し、回転台に偏荷重がかからないように荷物を載せてください。
- 常に荷物の状態に注意し、荷物が不安定な状態になった時は、すぐに荷物を整えてください。
- 本機を本来の目的以外に使用しないでください。
- 本機を改造しないでください。
- 取扱説明書に従って点検を必ず実施してください。

※偏荷重とは、局所的な集中荷重や回転台の前後左右いずれかに偏った荷重のことです。

4

設置について

警告



傾斜地には設置しないでください。本機の転倒や破損につながります。

注意

1. ベースと床面の間には隙間が無いように設置してください。隙間があるとベースが曲がったりテーブルが傾くことがあります。
2. 本機は屋外設置仕様や耐水仕様になっていません。乾燥した屋内に設置してください。

- (1) 設置する床が水平で、本機の自重と耐荷重に耐え得ることを確認してください。
- (2) 梱包を解き、任意の場所に置いてください。ベースにフォーク差し込み口がありますので、フォーク差し込み口を利用してパレットトラックやフォークリフトなどで運搬してください。
- (3) ベースに付いている止めネジで本機が水平になる様にレベル出しをしてください。レベル出し後、ベースと床面の間に隙間が無いかを確認してください。隙間があるとベースが曲がったりテーブルが傾くことがあります。隙間がある場合はスペーサなどで埋めてください。
- (4) 必要な場合はアンカーボルトで床に固定してください。ベースのアンカーシートにアンカー穴 (φ16.1×4) がありますので利用してください。

5 始業点検

点検は本機を安全にご使用いただくため、また不具合箇所を早期に発見するために大きな役割を果たします。作業を始める前に必ず下記の事項を点検してください。

⚠ 注意

異常と思われる箇所が発見された場合は、異常箇所の修復を完全に行うまで本機の使用を禁止してください。そのままお使いになると本機の破損および事故につながる危険性があります。修理は、販売会社を通じて依頼してください。

毎日作業前に実施してください。

- 1) 外観上各部に傷、曲り、亀裂などはないか。
- 2) 本機内部に異物が入っていないか。
- 3) 回転台の回転動作に異常な抵抗はないか。

6 使用方法

⚠ 警告

回転台やテーブルの上に乗らないこと。転倒や転落につながります。
リンク機構やその他動く部分に手足を入れないこと。巻き込まれます。

⚠ 注意

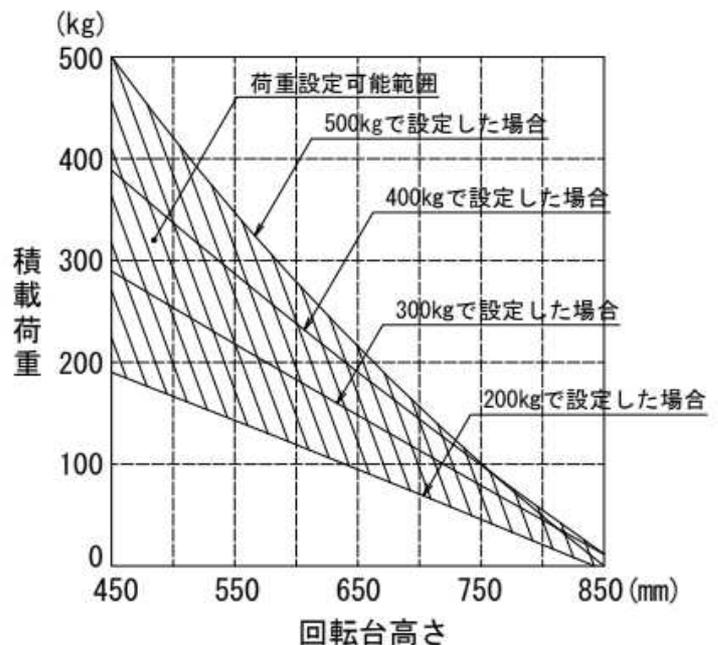
常に荷物の状態に注意し、荷物が不安定な状態になった時は、すぐに荷物を整えてください。

6-1 レベラー使用方法

パレットワイドレベラーは、荷重によりスプリングの設定が必要です。次の事柄を理解して最適な状態で使用してください。

<荷重－高さグラフ>

スプリングの荷重設定別に積載荷重と回転台高さの関係をグラフで示しています。



<荷重設定方法>

警告

直接手で荷重設定ハンドルを操作しないこと。テーブルに挟まれます。荷重設定時にテーブルが下がり、人身事故につながる可能性があります。必ずレバー荷重設定用補助ハンドル（付属品）を使用してください。



- 1) 荷重設定目盛の貼られている面【A】とスプリング【B】の角度が直角になるように回転台上に荷重を載せてください。その状態から高荷重側に設定する場合は積載荷重を一割軽く、低荷重側に設定する場合は一割重くすると調整が容易になります。
例えば、積載荷重が 300kg で【A】—【B】が直角であれば、高荷重側に設定する場合は 270kg で行い、低荷重側に設定する場合は 330kg で行ってください。
- 2) 次にレバーの荷重設定を行います。レバー荷重設定用補助ハンドル（付属品）をレバー荷重設定ハンドルに挿入してください。（図 1 参照）
右に回すと高荷重側に、左に回すと低荷重側に設定されます。荷重設定目盛横の矢印が示している値が設定荷重です。（図 2 参照） 荷重設定範囲内で任意の値に調整できます。
- 3) 調整中にハンドルが重くなった場合は 1) の要領で積載荷重を再調整してください。

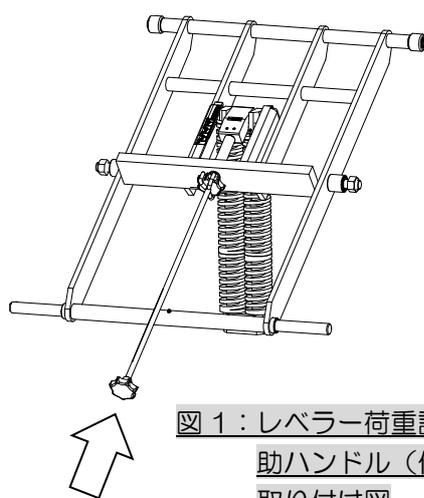
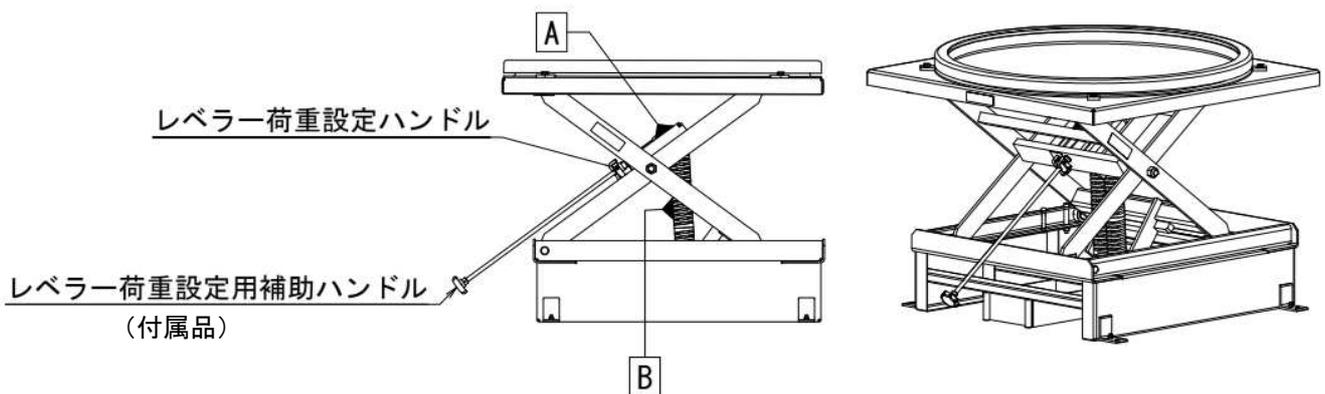


図 1：レバー荷重設定用補助ハンドル（付属品）取り付け図

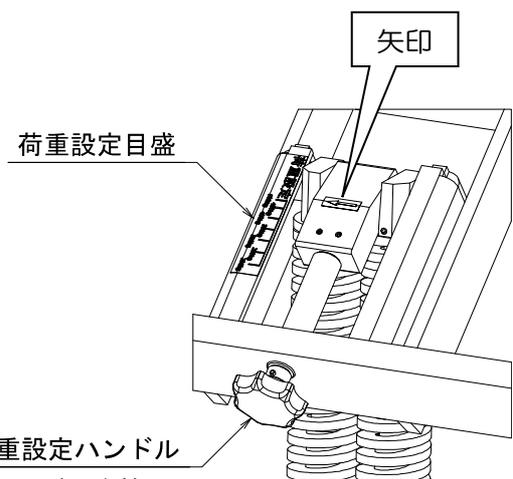


図 2：【A】部詳細
レバー荷重設定ハンドル
※直接このハンドルを持って操作しないでください。

図 2：【A】部詳細

荷重設定目盛はあくまで目安です。実際にご使用いただいて高さに不都合さを感じられる場合は、再度荷重設定方法に従い、微調整してください。

<使用について>



警告

一度に多くの荷物を積み下ろしたり、勢いよく回転台上に荷物を載せないでください。回転台高さが急激に変化し、荷物やテーブルによりけがをします。



注意

耐荷重以上の荷物を載せないでください。オーバー荷重は本機に損傷を与えます。

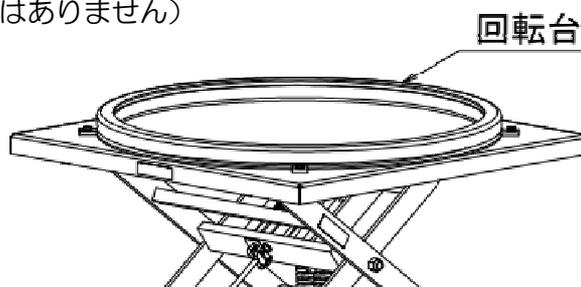


注意

荷物を均等に分配し、回転台に偏荷重がかからないように荷物を載せてください。

6-2 回転台

回転台部分は手で回転可能で、どちらの方向にも回転できます。
また、任意の位置で停止できます。（停止保持機能はありません）

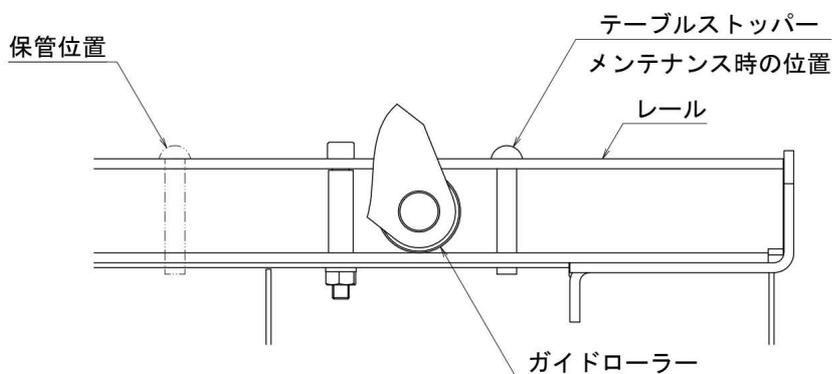


6-3 テーブルストッパー

本機はメンテナンス時などテーブルの下に入る時の為にテーブルストッパーを装備しています。メンテナンス時などテーブルの下に入るときは必ずテーブルストッパーを使用してください。

<テーブルストッパー使用方法>

- 1) 回転台上の荷物をすべて除去してください。
- 2) テーブルストッパーを保管位置から取り出し、メンテナンス時の位置に差込んでください。
- 3) メンテナンス終了後は、テーブルストッパーを保管位置に戻してください。



警告

テーブルストッパーは必ず無負荷で使用してください。
テーブルストッパーを使用した状態で荷物を載せると、ストッパーが破損し、荷物が落下する可能性があります。

7 保守点検



警告

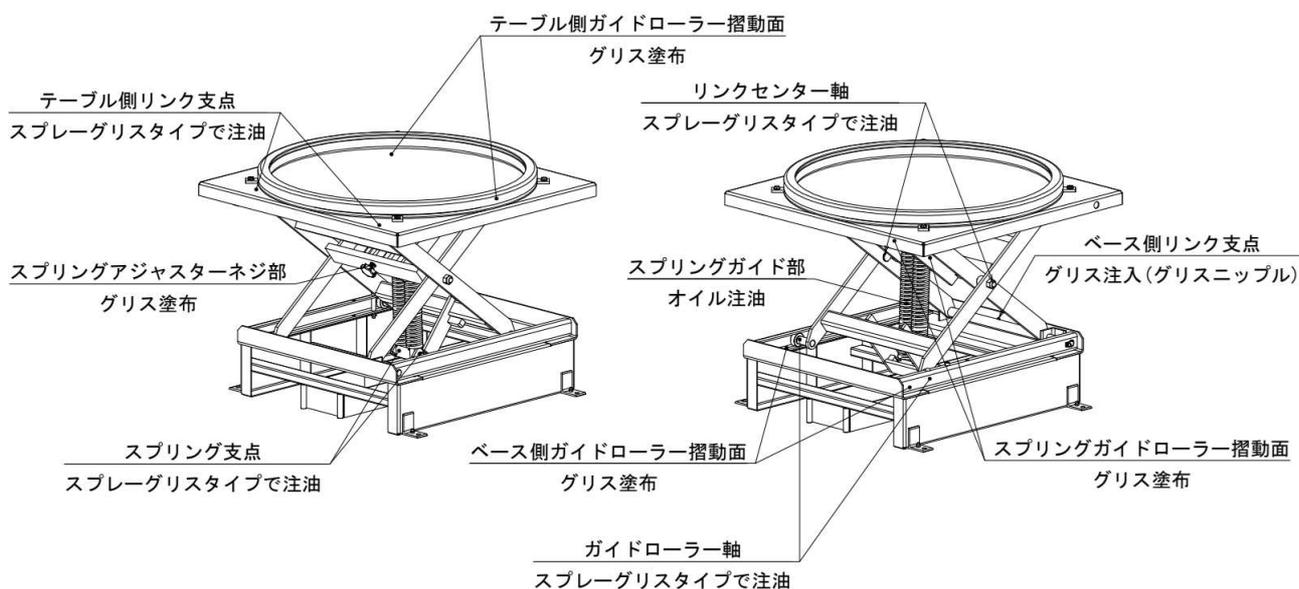
点検、メンテナンス時は回転台の荷物をすべて降ろし、テーブルストッパーをレールに差し込んで作業をすること。

定期的な点検してください。

- ① 外観上各部に傷、曲り、亀裂などはないか
- ② 各ネジ部のゆるみ、欠落はないか
- ③ 本機の摺動部に異常な摩耗はないか
- ④ 各指示箇所への給脂（「8 給脂箇所」参照）

8 給脂箇所

- 1) テーブルストッパーをレールに差し込んでから作業してください。
- 2) 最低 1 ヶ月に一度、または随時、油が切れる前に必ず給脂してください。



オイル：潤滑油（粘度 68 以上） グリス：工業用グリス（リチウム系）

9 標準本体仕様諸元

<仕様>

| | |
|-----------------|---------------------------|
| 型式 | PWL05 |
| レバー能力（荷重設定範囲） | 200～500 kg（調整可） |
| 本体耐荷重 | 1000 kg |
| 対象パレットサイズ（長さ×幅） | 1100 mm × 1100 mm |
| 回転台径 | 外径φ1000 mm、内径φ920 mm |
| 回転台最低高さ | 440mm |
| 回転台最高高さ | 850mm |
| 荷重設定方式 | ハンドル回転式（レバー荷重設定用補助ハンドル付属） |
| 自重 | 約 195 kg |

10 廃棄

本製品の廃棄については、鉄鋼材・非鉄材・樹脂材・作動油に分別し産業廃棄物として処理してください。ご不明な場合は販売会社へ相談のうえ処理してください。

11 商品保証規定

保証規定

取扱説明書、本体注意シール等の注意書に従って正常な使用状態で保証期間内（納入後3ヶ月以内）に故障した場合は、弊社の責任において無償にて欠陥部品の手直し、修理、取り替え、交換部品の送付をいたします。ただし、二次的に発生する損失の保証および、次の場合に該当する故障は保証いたしておりません。

1. 使用上の誤り、保守点検、保管等の義務を怠ったために発生した故障および損傷。
2. 商品の作動機構に悪影響を及ぼす変更（改造）を加え、それが原因で発生した故障および損傷。
3. 消耗品が損傷し取り替えを要する場合。
4. 火災・地震・風水害、その他天災地変等、外部に要因がある故障および損傷。
5. 指定された純正部品を使用されなかったことに起因する場合。
6. 日本国以外で使用される場合。
7. 保証請求手続きが不備の場合（例：型式および機体番号の連絡が無い場合 etc.）
8. 設置に原因がある故障および損傷。
9. 弊社販売会社および弊社以外で行われた修理。
10. 酷使・過失または事故によって生じたと認められる故障。

なお、本製品およびその付属品に使用されているゴム部品等のあらゆる自然消耗する部品、ならびに消耗部品については保証の適用は除外させていただきます。

本製品は屋外設置および耐水仕様になっておりませんので、錆・腐食・漏電等の水による故障は保証いたしておりません。

保証請求方法

上記規定に基づき本製品の保証請求を行う場合は、お買い上げいただいた販売会社までご一報ください。販売会社において必要な手続きを実施いたします。

なお、保証の可否は大変勝手ながら弊社において判断させていただきますのでご了承ください。

12

アフターサービスについて

| | |
|------------------|---|
| 調子が悪い時 | まずこの説明書をもう一度ご覧になってお調べください。 |
| それでも調子が悪い時は | 商品規定に従い修理しますので、お買い上げいただいた販売会社へ修理を依頼してください。 |
| 保証期間中の修理について | 保証期間は納品後3ヶ月以内です。商品保証規定の記載内容に基づいて修理いたします。 |
| 保証期間後の修理について | お買い上げいただいた販売会社へご相談ください。 修理によって機能が維持できる場合は、お客様のご要望により有料修理させていただきます。 |
| 補修用性能部品の保有期間について | 本製品の補修用性能部品の最低保有期間は製造打ち切り後10年間です。 (性能部品とは、その部品の機能を維持するために必要な部品です) |

アフターサービスについての詳細、その他ご不明な点は、お買い上げいただいた販売会社へお問い合わせください。
お問い合わせいただく際には、次のことをお知らせください。型式・機体番号・購入年月日・故障状況（できるだけ詳しく）

| | |
|-------------|------------|
| 型 式 | |
| 機 体 番 号 | No. |
| 購 入 年 月 日 | 年 月 日 |
| 購 入 店 名 | 社名： 担当者： |
| | 住所： 電 話： |
| 設 置 業 者 | 社名： 担当者： |
| | 住所： 電 話： |
| 故 障 日 ・ 状 況 | 年 月 日 状 況： |
| | |
| | |



<http://bishamon.co.jp> E-mail:sales@bishamon.co.jp

〒444-1394 本社 愛知県高浜市本郷町4丁目3番地21 tel.0566-53-1126 fax.0566-53-1844

〒146-0083 東京 東京都大田区千鳥2丁目2番12号 tel.03-3759-9722 fax.03-3759-9723

〒537-0002 大阪 大阪府大阪市東成区深江南2丁目3番22号 tel.06-6747-7617 fax.06-6747-7618

【その他営業拠点】 仙台・前橋・広島・坂出・福岡

OM-PWL05 2404-S